

PPG SIGMACOVER™ 410 MIO 80

説明

2液性 ハイビルド(厚膜型) 雲母状酸化鉄顔料 ポリアミド硬化工ポキシ樹脂系塗料

特長

- 陸上や海上で暴露環境にある鋼板やコンクリートの防食システムにおける多目的工ポキシ樹脂系中塗り塗料
- エアレススプレーでの塗装が容易

基本データ 20°C (68°F)

混合物のデータ	
構成	2液性
密度	1.9 kg/l (15.9 lb/US gal)
固形分 (容量)	80 ± 2%
VOC (供給時)	最大 126.0 g/kg (Directive 2010/75/EU, SED) UK PG 6/23(92) Appendix 3: 最大 240.0 g/l (約 2.0 lb/US gal)
推奨膜厚	40 - 150 µm (1.6 - 6.0 mils) 塗装仕様による
理論塗布量	8.0 m²/l - 100 µm (321 ft²/US gal - 4.0 mils)
指触乾燥	3 時間
完全硬化	7 日
貯蔵安定期間	基剤: 12 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合) 硬化剤: 12 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

注意点:

- 追加データ参照 - 塗布量及び膜厚
- 追加データ参照 - 塗装インターバル
- 追加データ参照 - 硬化時間

推奨素地調整 及び 被塗面温度

被塗面状態

- 適合プライマーは乾燥し異物の付着がなく清浄であること
- 必要な場合、被塗面は充分目粗しすること
- ジンクシリケートに塗装する際は、ミストコート及びフルコートが必要となる

PPG SIGMACOVER™ 410 MIO 80

被塗面温度及び塗装条件

- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は5°C (41°F) より高いこと。
- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は少なくとも露点より3°C (5°F) 以上高いこと。
- 塗装中及び硬化中の相対湿度は85%を超えないこと。

使用上の注意

混合比(容量): 基剤 : 硬化剤 = 4:1

- 15°C (59°F) より高温な塗料が塗装に適しており、適合する塗料温度に満たない場合は粘度調整のため、さらに希釈が必要になる。
- 過剰なシンナーの添加は塗料のタルミ性の低下、乾燥の遅延を引き起こす
- シンナーは基剤と硬化剤の混合・攪拌後に添加すること。

可使時間

6 時間 (20°C (68°F))

注意点:

- 追加データ参照 - 可使時間

エアスプレー塗装

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

5 - 10%

チップサイズ

1.5 - 3.0 mm (約 0.060 - 0.110 in)

2次圧

0.3 - 0.4 MPa (約 3 - 4 bar; 44 - 58 p.s.i.)

PPG SIGMACOVER™ 410 MIO 80

エアレススプレー塗装

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

5 – 10%

チップサイズ

約 0.48 – 0.53 mm (0.019 – 0.021 in)

2次圧

14.5 – 15.0 MPa (約 145 – 150 bar; 2100 – 2176 p.s.i.)

刷毛/ローラー塗装

- ローラー塗装はローラー跡が残るため最低DFTを必要とする場合のみ使用すること
- エボキシ塗装に適したローラーを使用すること

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

0 – 5%

洗浄用シンナー

- THINNER 90-53
-

追加データ

塗布量及び膜厚	
DFT	理論塗布量
75 µm (3.0 mils)	10.7 m ² /l (428 ft ² /US gal)
100 µm (4.0 mils)	8.0 m ² /l (321 ft ² /US gal)
150 µm (6.0 mils)	5.3 m ² /l (214 ft ² /US gal)

PPG SIGMACOVER™ 410 MIO 80

膜厚150 µm (6.0 mils) での塗装インターバル				
重ね塗り塗料	インターバル	20°C (68°F)	30°C (86°F)	40°C (104°F)
さまざまな2液性エポキシ及びポリウレタン塗料	最短	10 時間	8 時間	6 時間
	最長	3 ヶ月	2 ヶ月	1 月
ポリウレタン上塗り	最短	24 時間	16 時間	12 時間
	最長	3 ヶ月	2 ヶ月	1 月

注意点:

- 実際の最大オーバーコート時間は、地域の状況に影響されます。
- 次のコートの接着性を確実にするために、表面は乾燥 / 洗浄および、または研磨を必要とするすべての汚染（油、グリース、チョーキングなど）がない必要があります。

膜厚150 µm (6.0 mils) での硬化時間		
被塗面温度	ハンドリング可能	完全硬化
20°C (68°F)	10 時間	4 日
30°C (86°F)	7 時間	3 日
40°C (104°F)	5 時間	48 時間

可使時間(塗装可能粘度)	
混合塗料温度	可使時間
20°C (68°F)	6 時間
30°C (86°F)	3 時間
40°C (104°F)	2 時間

安全予防策

- 本製品は溶剤型塗料のため、スプレーミストや蒸気の吸引、塗料の皮膚、眼への接触に注意すること。
- 安全性と予防措置の要件については、安全データシートと製品ラベルを参照してください。

ワールドワイド対応

PPG Protective & Marine Coatings (PPGプロテクティブ&マリンコーティングス)は、常に世界中どこでも同じ製品を供給することを目標としています。しかしながら、地域や国内の法規/状況を順守するにあたって、製品の微調整が必要となる場合があります。その場合は、代替の製品データシートが使用されます。

PPG SIGMACOVER™ 410 MIO 80

参照

- Information sheet | Explanation of product data sheets

保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様に準拠していること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国特許権も侵害していないことを保証します。これはPPGによる唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または黙示を問わず、あらゆる類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づくいかなる請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内にPPGに対して書面にて行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎていないことを前提とします。購買者が本規定に適合しないことをPPGに通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

賠償責任の制限

PPGは、いがなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、付随的、派生的な（過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく）損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPGが信頼に値すると考える臨床実験を基にしたものであります。PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。PPG製品の使用に関連する推奨や示唆は、それらが技術文書で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答が関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受けにおいて行うものと見なされます。PPGは、基質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補完に伴い、不十分な結果がもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products (PPGプロテクティブ&マリン コatings 製品) の最新データシートは、www.ppgpmc.comにて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。